

指導と評価の年間計画(シラバス)

令和 4 年度 工業技術系 コミュニケーションシステム工学科

教科	工業	科目	工業技術基礎	単位数	3	単位	年次	1	年次
使用教科書									
副教材等	実習ファイル								

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

実践的なコンピュータの知識を習得し、実習を行うことによりその技能を習得して、日常生活の中でのコンピュータやプログラミングの意義や役割を身につけることをめざす。

2 学習の到達目標

コンピュータに関する基礎的な技術を実習によって体験し、コンピュータ分野における興味・関心を高め、工業の意義や役割を理解させ、広い視野と倫理観を養い、工業の発展をはかる意欲的な態度を身につけさせる。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	コンピュータの各分野に関する基礎的な知識と技能を身につけ、工業の発展と環境・資源などの調和のとれたものづくりを合理的に計画し、実際の仕事を適切に処理する技能を身につけている。	コンピュータに関する諸問題の適切な解決をめざして、広い視野からみずから思考し、基礎的な知識と技術を活用して適切に判断し、その結果を的確に表現し伝える能力を身につけている。	コンピュータについて主体的に興味・関心を持ち、その改善向上をめざして意欲的に取り組むとともに、社会の発展に役立つ技術開発を積極的に学ぶ態度を身につけている。

上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学年末に観点別学習状況の評価 (A、B、C の3段階) にまとめます。

また、学年末に観点別学習状況の評価 (A、B、C の3段階) 及び評価 (1～5 の5段階) にまとめます。

